



# てき丸君News 第14号

発行：公益社団法人全国産業廃棄物連合会

〒106-0032 東京都港区六本木3丁目1番17号

TEL 03-3224-0811 FAX 03-3224-0820

<http://www.zensanpairen.or.jp>

## 電マニ運用支援業務等をテーマに正会員事業研修

例年、当連合会では、連合会及び各正会員の事業活動に伴う実務上の課題等に関する各正会員事務局

担当者の業務知識向上や相互の情報交換等を目的に、実務担当者を対象にした事業研修を開催しています。

平成27年度は、電子マニフェスト運用支援業務等をテーマとして、1回目を4月27日に開催し23名の担当者が出席いたしました（本年度は2回開催にて、2回目は5月15日を予定）。

本年度は、公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センターのご担当者をお招きし、電子マニフェストの概要説明と電子マニフェスト操作体験の講師をしていただきました。

当日は、森谷専務理事の開会挨拶、連合会事務局職員の紹介と続き、その後に以下のプログラムにて研修を行いました。研修終了後は懇親会を開催し、正会員事務局担当者と連合会事務局職員のほか、日本産業廃棄物処理振興センターのご担当者にも参加いただきました。研修会に引き続き、懇親会でも活発な意見交換が行われました。

〔カリキュラム〕

- ①産業廃棄物処理業界に係る関係法令改正等動向：森谷専務理事
- ②平成27年度事業計画概要：大庭総務部長
- ③平成27年度電子マニフェスト運用支援業務：香川事業部長
  - ・運用支援業務全体のスキーム：日浦課長代理
  - ・説明会等の受付方法：JWセンター
- ④電子マニフェスト概要・操作体験：JWセンター
- ⑤事務連絡

（調査部・日浦）

## 「許可講習会講師研修会(業務管理担当)」を開催

許可申請に関する講習会（業務管理）の講義内容の向上を目的として毎年開催している講師研修会を、4月9日・10日にメルパルク横浜で開催しました。

初日は、日廃振センター・竹内理事、土屋教育研修部長にもご出席いただき、講習会の概要や開催計画、プログラムや講義に当たっての注意事項等をご説明頂きました。この他、森谷専務理事より産廃業界に係る法制度の動き、事務局より講義委嘱手続きや講義終了報告提出のお願い等について説明しました。

2日目は、講師の皆様にご講義要領及び時間配分について、グループ討議を行って頂き、講義要領を作成して頂きました。その後、外部講師として、村松真貴子氏をお迎えし、「講師として心がけたいポイントについて」と題して、講義を行う際のポイントについて、講義いただきました。

（事業部・横山）



## 平成27年度第1回実務者研修会講師打合せ会を開催

平成27年度第1回実務者研修会講師打合せ会を4月22日、当連合会会議室にて開催しました。

当日は、実務者研修会講師8名が参加して、27年度の実務者研修会テキスト改定や講義内容について活発な議論が繰り広げられました。主な議題は、①テキスト改訂案について ②平成27年度産業廃棄物処理実務者研修会講義分担について ③平成26年産業廃棄物処理実務者研修会質問・回答例について ④平成26年度産業廃棄物処理実務者研修会アンケート結果について、の4項目です。

（事業部・東方）

## 鹿児島県協会 県認定リサイクル製品の普及促進へ

鹿児島県産業廃棄物協会（三谷純夫会長、写真右）は4月16日、鹿児島県から委託された「リサイクル認定制度」における担当参事として向鶴和幸氏（写真左、前県建設技術センター）を迎え入れ、鹿児島市の同協会で辞令を交付しました。

同認定制度は、廃棄物等の発生抑制および資源の循環的な利用の促進ならびにリサイクル産業の育成と振興を図り、循環型社会の形成に資することを目的に、県が今年度から新規に創設した事業です。品質安全性などについて一定の要件を満たすリサイクル製品の認定を同協会に委託し、利用促進を図っていくこととしており、県廃棄物・リサイクル対策課の松本俊一課長は「専門的知見で効率的かつ有効的に機能することを期待している」と話されています。

同日、辞令を受けた向鶴氏は「持てる力を十分に発揮して、一日も早く制度が機能するように頑張りたい」と抱負を語りました。

また、三谷会長も「他県の先進事例を参考にしながら早急に制度設計を行い、業界・業者へ普及啓発を図っていきたい」と話し、「環境・品質ともに優れた『メイドイン鹿児島』の認定リサイクル製品を市場に普及させたい」と意気込みを述べました。

（一般社団法人 鹿児島県産業廃棄物協会）



## 青年部協議会 全日本トラック協会青年部会と意見交換会開く

全日本トラック協会青年部会と全国産業廃棄物連合会青年部協議会との意見交換会が、4月8日に全日本トラック総合会館にて開催されました。

両青年部会より各ブロックの代表幹事が集まり、各青年部会の紹介と活動状況、問題点、今後の活動等について意見交換をさせていただきました。異業種ではありますが、収集運搬分野においては共通する部分も多数あり、実のある意見交換会が開催できました。

今後は各ブロック同士積極的に交流していき、両青年部会の益々の発展につながる活動をお約束させていただきました。

（青年部協議会）



挨拶する加山会長

## 官公庁関係ニュース

### ●支障除去等に対する支援に関する検討会（第1回）を開催●

環境省は、支障除去等に対する支援に関する検討会（座長＝新美育文・明治大学法学部専任教授）の第1回会合を4月30日、公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団の会議室で開催しました。

同検討会は、都道府県等が行う不法投棄の生活環境保全上の支障除去等に対する支援措置として、国と産業界が協力して造成している基金に関し、平成28年度以降の支援のあり方を議論するために設置されたものです。検討会には、当連合会の森谷専務理事が委員として参加しており、日本経団連等の産業界、地方公共団体、法律関係の学識者や専門家の方々が参加されています。

当日は、環境省から不法投棄・不適正処理の現状や基金制度の経緯等の概要が説明された後、質疑応答及び意見交換が行われました。

[http://www.env.go.jp/recycle/ill\\_dum/com\\_support-restore/index.html](http://www.env.go.jp/recycle/ill_dum/com_support-restore/index.html)

（総務部・古川）

### 【環境省】

◇経済性を重視した二酸化炭素削減対策支援事業のうち二酸化炭素削減ポテンシャル診断事業

<http://www.env.go.jp/press/100855.html>

◇平成27年度中小トラック運送業者における低炭素化推進事業

<http://www.env.go.jp/press/100850.html>

## 委員会・部会便り

### ●法制度対策委員会●

平成27年度第1回法制度対策委員会を4月3日に開催しました。

当日は、災害廃棄物対策に関する法律案として、「廃棄物処理法及び災害対策基本法の一部を改正する法律案」が3月24日に閣議決定され国会に提出されたことから、環境省廃棄物対策課の和田課長を委員会にお招きし、同法律案の概要等のご説明及び委員との意見交換をしていただきました。その後の議題の審議では、次期の廃棄物処理法の見直しについて本格的な議論を進めていく旨の委員会の方針を確認しました。また、報告事項として、①第5回巨大地震発生時における災害廃棄物対策検討委員会について ②水銀に関する水俣条約対応の動向について ③自動車リサイクル制度の見直し等について ④産業廃棄物処理業の業法を含めた振興策の検討に関するタスクフォースによる事業者アンケートの実施について、の4項目を事務局より報告しました。次回は、7月8日午後2時から当連合会会議室にて開催する予定です。（総務部・古川）

### ●表彰選考委員会●

平成27年度表彰選考委員会を4月21日に開催しました。委員会では、平成27年度連合会会長表彰の被表彰者の選考及び循環型社会形成功労者等環境大臣表彰（産業廃棄物関係事業功労者）中央推薦の候補者を選考しました。なお、会長表彰被表彰者は5月26日開催の第24回理事会で正式に決定され、表彰式を6月12日午後3時から当連合会の総会第2部にて行う予定です。（総務部・富樫）

### ●中間処理部会●

平成27年第1回中間処理部会を4月28日に開催しました。議題は、廃棄物処理法の見直しについて、水銀に関する水俣条約のための国内措置、二次マニフェストの電子化、HBCD含有廃棄物の処理、トリクロロエチレンの処理基準等見直し、カドミウムの処理基準等見直し、各種リサイクル法でした。当連合会では次期廃棄物処理法見直しに向けての意見集約をはかるため、各部会での議論を通じて、法制度対策委員会で取りまとめることとしています。中間処理部会運営委員会では、会議終了後に各人が廃棄物処理法の見直しに関する意見提出をすることとなりました。（調査部・日浦）

### ●INDUST 5月号特集「安全衛生管理を徹底する」●

安全衛生管理に「これで十分」は通用しません。どれだけ手を尽くしても、労働災害は絶え間なく起こり、ヒヤリハットは止むことがありません。安全行動を意識づけるよう関係者を教育し、安全確保に機能的な施設・設備の設置を図ることは効果も大きいのですが、やはりそれでも万全ではありません。

できることは、繰り返しスタートラインに立ち返り、確認・点検を怠らないことが大切です。そして、「模範に倣う！」を徹底することが重要です。効果を挙げる優れた取り組みとは？ 今号では、安全衛生管理を特集します。（事業部・東方）

#### - 主な行事予定 - (5月15日～6月12日)

##### 【5月】

- 15日 正会員事業研修
- 25日 自民党産業・資源循環議連との意見交換会
- 26日 第24回理事会
- 27日 第99回青年部協議会幹事会
- 30日 タスクフォース会合

##### 【6月】

- 3日 第1回医療廃棄物部会運営委員会
- 4日 第1回最終処分部会運営委員会
- 12日 第5回定時総会



## 定時総会開催のお知らせ

当連合会の第5回定時総会、講演会及び懇親会を次の要領にて開催します。

- ◆ 日時：平成27年6月12日（金）
- ◆ 場所：明治記念館（東京都港区元赤坂2-2-23、TEL 03-3403-1171）
- ◆ 第5回定時総会（13:30～16:15）
  - <第一部>（13:30～14:45）
    - 1 開会宣言
    - 2 会長挨拶
    - 3 来賓挨拶
    - 4 議長選任
    - 5 議事録署名人選任
    - 6 議事
      - ・平成26年度事業報告並びに平成26年度決算案承認の件  
平成26年度監査報告 等
      - ・報告事項1 平成27年度事業計画の件
      - ・報告事項2 平成27年度収支予算の件
  - ～（休憩）～
  - <第二部>（15:00～16:15）
    - 7 平成27年度表彰式
    - 8 閉会宣言
- ◆ 講演会（16:30～17:30）
  - 講 師：株式会社 はとバス（元）社長 宮端 清次 氏
  - テーマ：はとバス再建から得た教訓 -私の実践的企業経営論-
- ◆ 懇親会（18:00～20:00）

